

中国における認知症介護の実態と 支援策に関する研究

—女性家族介護者を事例として—

CAI Zihao

本研究では、高齢者に限らない認知症のある方の在宅での家族介護に注目する。とりわけ、介護負担を多く引き受けている女性家族介護者に注目し、在宅介護の実態を明らかにすると同時に、さらに介護者支援をめぐる課題を抽出する。

中国では高齢化が進み、それに伴い高齢化関連疾患の発生率、罹患率、死亡率も大幅に増加し、社会を圧迫している。とくに、認知症の発症率は増加の一途をたどっており、健康および社会的に大きな問題となっている。そのため、中国において、認知症患者を介護する家族は、膨大な人数に上ると推計される。

第 1 章では、認知症の概念を明確にした上で、中国における認知症高齢者の現状について概観し、認知症高齢者に関する先行研究を整理した。本章で強調したのは以下の 2 点である。1 点目は、認知症は「老化」と違い、すべての高齢者になるわけではない。診断された場合は、加齢の過程で避けられないものだからと軽視せず、適切な治療とケアをする必要があるという点である。2 点目は、認知症が進行性であるがゆえの介護の大変さである。時間が経つにつれて遅かれ早かれ悪化する。また、認知症における中国社会が抱える問題については、「認識不足」、「未富先老」、「介護家族の弱体化」と「介護専門職の不足」の 4 つを挙げた。

第 2 章では、国や地方政府での高齢者・認知症高齢者に関連する主な政策について説明した。中国では、高齢者に関する制度や法律は、いずれも「家族の義務」を強調している。この背景に、中国では老親の世話を家族が担うという伝統的な「常識」がある。つまり、福祉政策があっても、家族が介護から完全に解放されるわけではない。近年、高齢化に対応するため、国や地方政府がさまざまな政策を打ち出している。これらの多くは、要介護高齢者や 80 歳以上の高齢者を対象としている。また、これまで採用されてきた政策を詳しく見てみると、認知症高齢者は、「失能高齢者」に分類されている。認知症患者のための福祉政策は、依然として、周縁的な位置づけのままである。中

国では、家族介護者は福祉政策から見過ごされた存在になっている。支援制度の不備のため、介護の価値が社会の中で十分評価されていないことで、介護する家族は、孤立感や社会的排除の感覚を抱いてきた。

第 3 章では、家族と介護の関係を説明した。先行研究では、認知症ケアにおいて、認知症高齢者本人だけでなく、家族介護者の負担軽減や心身健康などにも注目している。適切な社会的支援により、家族介護者の負担を軽減し、認知症高齢者と家族介護者の生活の質を高める必要があることが示唆された。また、家族介護者は、性別によって状況が大きく異なる。提供するケアの内容や介護のストレスには大きな性差がある。介護者支援が制度化されていない中国で、女性介護者の現状を把握し、見過ごされがちな女性介護者が抱える困難を明らかにする必要性を確認した。

第 4 章では、認知症の人の女性家族介護者へのインタビュー調査を実施し、M-GTA に則ってデータ分析を行った。まず、なぜ女性が、家族の介護を担うようになるのか。伝統的な家族介護モデルでは、とくに農村部では、息子は親を養う主な責任者である。また、性別役割分業によって、親の介護は息子の嫁が行い、息子はお金を稼ぐというのが一般的である。先行研究によれば、家族形態の変化や社会変遷に伴い、女性の社会経済的地位が向上し、次第に家庭で発言力を持つようになり、嫁による義親への養老責任分配が減少する傾向にある。嫁である女性は、自分の小さな核家族の利益に基づいて、養老の負担の増加の視点から、夫の姉妹を扶養の責任に含める傾向がある。本研究で明らかになったことは、息子と娘が共に親の扶養に入っている家庭では、介護ができる娘や経済的余力がある娘が、息子よりも介護役割を期待される傾向があるということである。「親の期待」や「家族の期待」が女性の介護役割を後押し固定化している。また、中国では、依然としてケアは私事と考えられているため、家族がケアの第一義的責任を担っている。つまり「社会の期待」も女性の介護役割を後押ししている。女性の介護問題を論じるとき、仕事と介護の関係がしばしば取り上げられるが、中国の場合、定年退職年齢の性差も、女性が主介護者になりやすい要因となっている。定年退職した女性が介護を担うことを期待されるために、老後の生活を楽しめないという問題にも派生している。

本調査で明らかになったことを踏まえて、長期的な支援課題を提示した。第 1 に、中国における認知症介護の発展のためには、認知症に対する正しい理解を普及することが不可欠である。認知症に対する新たな理解を国民に提供し、認知症のある方の家族介護者の負担を軽減することが重要である。第 2 に、膨大な人口を抱える中国では、福祉先進国のように認知症患者一人ひとりとその家族介護者を十分にサポートすることができないため、家族介護者の自律的な問題解決能力、サポート能力の向上が重要な課題となっている。最後に、地域高齢者サービスにおける質の向上と介護人材の育成という支援課題がある。